

森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

六甲山の鳥類

活動地で見られる鳥類



ソウシチョウ



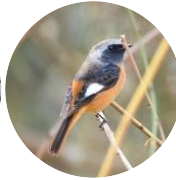
センダイムシクイ



オオルリ



シロハラ



ジョウビタキ



メジロ



エナガ

六甲山でよく見られる鳥類 (以下調査結果) ※青文字：写真参照

留鳥※1	メジロ、ヒヨドリ、コゲラ、ヤマガラ、ソウシチョウ、ウグイス
夏鳥※2	センダイムシクイ、キビタキ、ヤブサメ、オオルリ
冬鳥※3	ルリビタキ、シロハラ、アオジ、ジョウビタキ

※1 一年中六甲山で見られる鳥

※2 繁殖のために六甲山にやってくる鳥 (春～初夏に来て秋に去る)

※3 冬をこすために六甲山にやってくる鳥

コナラ-アベマキ群集で目標樹林の指標となる鳥類

増加すると良好と評価 → キビタキ

階層構造 (様々な高さの樹林) の発達した樹林を好む

増加すると不適と評価 → ウグイス、ソウシチョウ 林床植生の多い樹林を好む

ウグイスやソウシチョウとネザサ群落との結びつき

ウグイスは六甲山において、ネザサ群落との結びつきが強いと考えられます。植栽後約10年、約20年経過した地点やニセアカシア群落、オオバヤシヤブシ群落で、いずれも林床にネザサが多い地点、繁茂する群落では確認されやすくなると推測されます。(ネザサに限らず、林床が藪地状の環境でも同じ) ソウシチョウも同じようにネザサ群落を好む種と考えられます。

- ・ウグイスのみ確認された地点：14地点
- ・ソウシチョウのみ確認された地点：15地点
- ・両種が確認された地点：22地点

↓
両種とも繁殖環境が共通していると考えられる



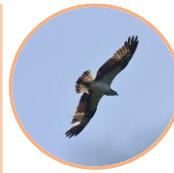
ウグイス

コナラ-アベマキ群集でよく見られる鳥類 (主に留鳥)

夏季	メジロ (1位)、ヒヨドリ (2位)、コゲラ (3位)、エナガ (同3位)、ハシブトガラス (同3位)、キビタキ (4位 夏鳥)	冬季	ヒヨドリ (1位)、メジロ (2位)、シロハラ (3位 冬鳥)、ハシブトガラス (同3位)、ウグイス (4位)
----	--	----	---

確認した重要種

ゴイサギ、ホトトギス、ツツドリ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、フクロウ、アオバズク、アカショウビン、アカゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、サンコウチョウ、コガラ、オオムシクイ、エゾセンニュウ、ミソサザイ、ルリビタキ、キビタキ、オオルリ、カヤクグリ、アオジ、クロジ



ミサゴ



アオゲラ



キビタキ



【参考資料】六甲砂防事務所 R5 六甲山系生物多様性調査解析業務 / 写真：森の世話人活動支援事務局
調査方法：定点調査日：2022年6月1日～3日 (30分/地点)・2022年12月5日～7日 (30分/地点)
調査場所：六甲山系グリーンベルト整備事業地 67地点/コナラ-アベマキ群集 (目標樹林) 定点場所：北畑、住吉、高取東、火の谷

森づくり活動の合間に探してみたい鳥はありますか♪

未来を守る緑の六甲へ